

# 不二製油グループ本社（株） 決算補足資料

2024年度（2025年3月期）

- 第2四半期 -

ページ	項目
1	表紙
2	0-1： 注記 / 為替情報
3	1-1： 2024年度 連結業績 2Q（3ヶ月）
4	1-2： 2024年度 連結業績 2Q累計
5	1-3： 2024年度 連結業績 2Q累計（事業別・所在地別マトリクス）
6	2-1： 主な指標
7	3-1： 2024年度 連結業績予想
8	3-2： 2024年度 連結業績予想（事業別・所在地別マトリクス）

## 0-1 : 注記 / 為替情報

### 注記情報

#### 子会社の決算期変更について

業務用チョコレート事業・Blommer Chocolate Company（米国、以降ブラマー）は2024年度より決算期を変更しております。従来は、ブラマーの2月から翌年1月の損益計算書を連結しておりましたが、2024年度からは、ブラマーの4月から翌年3月の損益計算書を連結しております。

### 主な為替レート

・P/L：期中平均レート、B/S：期末レート

		2023年度	2023年度	2024年度	前期比		2024年度
		2Q	期末	2Q	差	増減率	予想前提*
\$	P/L	141.00	144.62	152.63	+11.63	+8.2%	150.00
	B/S	149.58	151.41	142.73	▲ 8.68	▲5.7%	-
BRL	P/L	28.70	29.31	28.42	▲ 0.28	▲ 1.0%	27.43
	B/S	29.87	30.31	26.20	▲ 4.11	▲13.6%	-
€	P/L	153.39	156.80	165.95	+12.56	+8.2%	164.00
	B/S	158.00	163.24	159.43	▲ 3.81	▲2.3%	-
人民元	P/L	19.75	20.14	21.15	+1.40	+7.1%	20.83
	B/S	20.46	20.83	20.46	▲ 0.37	▲1.8%	-

・P/Lは前年同期、B/Sは前年度期末（2023年度期末）を比較

\* 予想前提P/Lレートは、11月修正予想に合わせ見直した数値

## 1-1： 2024年度 連結業績 2Q（3ヶ月）

### ● 業績概要

**売上高 1,636億円（前年同期比+236億円）、営業利益 ▲28億円（前年同期比▲80億円）**

売上高：業務用チョコレート事業での原材料価格上昇に伴う販売価格の上昇や、植物性油脂事業での東南アジアの販売数量の増加、円安の影響により増収。  
 営業利益：植物性油脂事業における東南アジアでのチョコレート用油脂CBEの販売伸長や業務用チョコレート事業における日本、東南アジアなどでの販売数量増加があった一方、米国ブラマーでのカカオに関連した特殊要因により減益。

（単位：億円）

	FY2023 2Q実績	FY2024 2Q実績	前年同期比 増減額	増減要因(前年同期比)	
売上高	植物性油脂	471	490	+20	米州での販売数量が減少した一方、東南アジアでの販売数量の増加や円安の影響により増収。
	業務用チョコレート	616	823	+207	原材料価格上昇に伴う販売価格の上昇、円安の影響により増収。
	乳化・発酵素材	222	231	+10	日本や東南アジアでの販売数量の増加により増収。
	大豆加工素材	91	91	▲0	前年並みに推移。
	合計	1,400	1,636	+236	
営業利益	植物性油脂	44	64	+20	原材料価格の安定や日本、東南アジア、欧州でのチョコレート用油脂CBEの販売伸長により増益。
	業務用チョコレート	3	▲95	▲98	日本、東南アジア、欧州では販売が堅調に推移した一方で、米国ブラマーでのカカオに関連した特殊要因により大幅減益。
	乳化・発酵素材	9	9	+0	中国では採算性が低下した一方で、日本での製パン向けの堅調な販売や、東南アジアでの日本向け調製品の販売数量の増加により前年並み。
	大豆加工素材	6	5	▲1	日本での販売数量の減少により減益。
	グループ管理費用等	▲9	▲10	▲1	
	合計	52	▲28	▲80	
営業利益率	3.7%	—	—		
経常利益	50	▲41	▲92	営業損失に加え、支払利息の増加により減益。	
親会社株主に帰属する四半期純利益	33	▲37	▲70		

\* 上記の連結業績は億円未満を四捨五入した数値を記載しております。

## 1-2： 2024年度 連結業績 2Q累計

### ● 業績概要

**売上高 3,160億円（前年同期比+449億円）、営業利益 47億円（前年同期比▲41億円）**

売上高：業務用チョコレート事業での原材料価格上昇に伴う販売価格の上昇や、植物性油脂事業での東南アジアの販売数量の増加、円安の影響により増収。  
 営業利益：植物性油脂事業における東南アジアでのチョコレート用油脂CBEの販売伸長や業務用チョコレート事業における日本、東南アジアなどでの販売数量増加があった一方、米国ブラマーでのカカオに関連した特殊要因により減益。

(単位：億円)

		FY2023 2Q累計	FY2024 2Q累計	前年同期比 増減額	増減要因(前年同期比)
売上高	植物性油脂	928	967	+39	米州での販売数量が減少した一方、東南アジアでの販売数量の増加や円安の影響により増収。
	業務用チョコレート	1,166	1,559	+393	原材料価格上昇に伴う販売価格の上昇、円安の影響により増収。
	乳化・発酵素材	436	453	+17	日本や東南アジアでの販売数量の増加により増収。
	大豆加工素材	180	181	+1	前年並みに推移。
	合計	2,710	3,160	+449	
営業利益	植物性油脂	75	108	+33	原材料価格の安定や日本、東南アジア、欧州でのチョコレート用油脂CBEの販売伸長により増益。
	業務用チョコレート	7	▲66	▲73	日本、東南アジア、中国、欧州では販売が堅調に推移した一方で、米国ブラマーでのカカオに関連した特殊要因により大幅減益。
	乳化・発酵素材	14	17	+3	中国では採算性が低下した一方で、日本での製パン向けの堅調な販売や、東南アジアでの日本向け調製品の販売数量の増加により増益。
	大豆加工素材	10	8	▲2	日本での販売数量の減少により減益。
	グループ管理費用等	▲18	▲21	▲3	
	合計	88	47	▲41	
営業利益率		3.2%	1.5%	▲1.8pt	
経常利益		83	24	▲59	営業減益に加え、支払利息の増加により減益。
親会社株主に帰属する中間純利益		124	10	▲114	営業減益、経常減益に加え、前年同期のフジオイルニューオリンズの固定資産譲渡による特別利益の反動により減益。

\*上記の連結業績は億円未満を四捨五入した数値を記載しております。

### 1-3 2024年度 連結業績 2Q累計 (事業別・所在地別マトリクス)

売上高

(単位：百万円)

	年度	日本		米州		東南アジア		中国		欧州		連結計	
		実績	前年同期比	実績	前年同期比	実績	前年同期比	実績	前年同期比	実績	前年同期比	実績	前年同期比
植物性油脂	FY2024 2Q	29,549	+1,809	27,804	▲5,542	17,970	+6,409	1,878	+129	19,492	+1,099	96,695	+3,906
	FY2023 2Q	27,740	+1,321	33,347	▲6,737	11,560	▲5,366	1,748	▲24	18,392	+2,236	92,789	▲8,570
	FY2022 2Q	26,419	-	40,084	-	16,927	-	1,772	-	16,156	-	101,360	-
業務用チョコレート	FY2024 2Q	24,838	+3,451	106,954	+29,136	13,078	+3,919	5,553	+2,153	5,491	+644	155,915	+39,304
	FY2023 2Q	21,386	+2,020	77,818	+5,898	9,159	+1,420	3,400	+356	4,846	+1,410	116,611	+11,105
	FY2022 2Q	19,366	-	71,920	-	7,739	-	3,043	-	3,436	-	105,505	-
乳化・発酵素材	FY2024 2Q	29,097	+784	-	-	7,806	+714	8,377	+159	-	-	45,281	+1,658
	FY2023 2Q	28,313	+988	-	-	7,091	▲1,029	8,217	▲985	-	-	43,622	▲1,026
	FY2022 2Q	27,325	-	-	-	8,120	-	9,203	-	-	-	44,648	-
大豆加工素材	FY2024 2Q	17,701	+154	-	-	-	-	334	▲133	30	+30	18,066	+51
	FY2023 2Q	17,546	+1,188	-	-	-	-	468	▲57	0	+0	18,014	+1,131
	FY2022 2Q	16,357	-	-	-	-	-	525	-	-	-	16,883	-
売上高計	FY2024 2Q	101,187	+6,199	134,759	+23,593	38,855	+11,044	16,143	+2,308	25,014	+1,774	315,959	+44,921
	FY2023 2Q	94,987	+5,518	111,165	▲839	27,811	▲4,975	13,834	▲710	23,239	+3,646	271,038	+2,639
	FY2022 2Q	89,468	-	112,004	-	32,787	-	14,545	-	19,593	-	268,398	-

上記売上高は外部顧客への売上高を記載しています。

営業利益

	年度	日本		米州		東南アジア		中国		欧州		連結調整		グループ管理費用		連結計	
		実績	前年同期比	実績	前年同期比	実績	前年同期比	実績	前年同期比	実績	前年同期比	実績	前年同期比	実績	前年同期比	実績	前年同期比
植物性油脂	FY2024 2Q	3,634	+800	2,580	+151	2,670	+2,040	99	+96	1,863	+355	▲5	▲139	-	-	10,842	+3,305
	FY2023 2Q	2,833	+1,918	2,428	+2,568	630	▲1,715	3	+96	1,507	+978	133	+351	-	-	7,536	+4,198
	FY2022 2Q	915	-	▲140	-	2,346	-	▲93	-	529	-	▲218	-	-	-	3,338	-
業務用チョコレート	FY2024 2Q	3,282	+636	▲12,704	▲9,803	1,797	+1,221	420	+405	664	+339	▲78	▲109	-	-	▲6,617	▲7,308
	FY2023 2Q	2,646	+322	▲2,900	▲2,921	575	+411	14	+81	325	+179	30	▲25	-	-	691	▲1,952
	FY2022 2Q	2,323	-	21	-	164	-	▲66	-	145	-	56	-	-	-	2,644	-
乳化・発酵素材	FY2024 2Q	1,680	+295	-	-	127	+253	64	▲120	-	-	▲131	▲133	-	-	1,741	+294
	FY2023 2Q	1,385	+598	-	-	▲126	+520	184	+386	-	-	2	▲101	-	-	1,446	+1,403
	FY2022 2Q	787	-	-	-	▲647	-	▲201	-	-	-	103	-	-	-	42	-
大豆加工素材	FY2024 2Q	1,026	▲170	-	-	-	-	82	▲30	▲400	▲9	92	+39	-	-	801	▲170
	FY2023 2Q	1,197	+272	-	-	-	-	113	▲38	▲391	▲256	52	+58	-	-	972	+36
	FY2022 2Q	924	-	-	-	-	-	152	-	▲134	-	▲6	-	-	-	935	-
連結調整	FY2024 2Q	65	▲1	▲21	▲9	▲29	▲51	6	+5	29	▲37	▲131	+19	-	-	▲80	▲75
	FY2023 2Q	67	▲24	▲11	▲7	21	+29	1	▲9	67	+139	▲150	▲115	-	-	▲4	+10
	FY2022 2Q	92	-	▲3	-	▲7	-	10	-	▲71	-	▲34	-	-	-	▲14	-
グループ管理費用	FY2024 2Q	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	▲2,031	▲189	▲2,031	▲189
	FY2023 2Q	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	▲1,842	+38	▲1,842	+38
	FY2022 2Q	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	▲1,880	-	▲1,880	-
営業利益計	FY2024 2Q	9,690	+1,561	▲10,145	▲9,661	4,566	+3,463	673	+355	2,157	+648	▲254	▲323	▲2,031	▲189	4,655	▲4,144
	FY2023 2Q	8,129	+3,086	▲484	▲360	1,102	▲753	317	+516	1,509	+1,041	68	+166	▲1,842	+38	8,800	+3,735
	FY2022 2Q	5,042	-	▲123	-	1,856	-	▲199	-	468	-	▲98	-	▲1,880	-	5,065	-

## 2-1:主な指標

大項目	項目	単位	備考	FY2022	FY2023	FY2024(累計実績)			
						1Q	2Q	3Q	4Q
PL項目	営業利益	億円		109	182	74	47		
	営業利益成長率	%		▲27.1%	+66.5%	+107.6%	▲47.1%		
	EBITDA	億円		312	453	126	148		
	設備投資	億円	有形固定資産の設備投資	215	151	37	121		
	減価償却	億円	有形固定資産の減価償却費	146	149	38	74	*2	
	ROA	%	経常利益÷総資産	2.2%	3.6%	5.1%	1.0%		
	ROE	%	売上高純利益率×総資産回転率×財務レバレッジ	3.1%	3.0%	7.9%	0.9%		
	売上高純利益率	%	当期純利益÷売上高	1.1%	1.2%	3.1%	0.3%		
	総資産回転率	回	売上高÷総資産	1.26	1.20	1.20	1.30		
	財務レバレッジ	倍	総資産÷自己資本	2.3	2.0	2.3	2.3		
	ROIC	%	営業利益×(1-法人税率)÷(有利子負債+自己資本)	2.0%	3.5%	4.7%	1.6%		
	総資産	億円		4,688	4,702	5,463	5,018		
	BS項目	有利子負債	億円		1,684	1,303	2,031	1,929	
NET有利子負債		億円		1,494	1,028	1,698	1,581		
NET運転資本		億円		819	899	1,228	1,052		
自己資本比率		%		43.3%	49.4%	43.9%	42.6%		
負債比率		%		127.1%	97.3%	122.3%	129.9%		
のれん(広義)		億円	のれん(広義)とは、のれんに加え、商標権、その他無形固定資産等を含んだもの	552	517	533	464		
のれん償却額		億円		26	26	6	11		
のれん(広義)純資産比率		%		26%	21%	21%	21%		
D/Eレシオ		倍	有利子負債÷自己資本	0.83	0.56	0.85	0.90		
Net D/Eレシオ		倍	Net有利子負債(有利子負債-現預金)÷株主資本	0.80	0.54	0.91	0.87		
CF項目	営業キャッシュフロー	億円		76	482	▲386	▲266		
	投資キャッシュフロー	億円		▲165	88	▲44	▲89		
	フリーキャッシュフロー	億円		▲89	570	▲430	▲355		
	財務キャッシュフロー	億円		98	▲500	476	438		
	CCC	日		104	102	122	107		

\*1 過年度の実績値を遡及修正した場合は、当資料も遡及修正後の数値に基づき再表示。

\*2 FY2024.1Q、2QのROA、ROE、ROIC：年間換算した参考値を記載。

\*3 プラマールに係るのれんの追加償却は除く。

### ※主な設備投資

年度	主な投資項目	億円
2024	日本 製造設備向け等	59
2Q累計	米州 プラマール設備投資等	24
	米州 ハラルド設備投資等	12
計		121

### 株主還元

株主還元方針
・配当性向30-40%
・安定かつ継続的な配当の実施

1株当たりの配当金の推移 (単位：円)

年度	中間配当	期末配当	合計	配当性向
2016	22	22	44	31.2%
2017	23	25	48	30.0%
2018	25	25	50	37.1%
2019	27	29	56	29.4%
2020	26	26	52	40.6%
2021	26	26	52	38.9%
2022	26	26	52	73.0%
2023	26	26	52	68.5%
2024 予想	26	26	52	37.3%

### 3-1： 2024年度 連結業績予想

#### ●業績概要

**売上高 6,450億円（前期比+809億円）、営業利益 235億円（前期比+53億円）**

売上高：業務用チョコレート事業での原材料価格上昇に伴う販売価格の上昇や、植物性油脂事業での東南アジアの販売数量の増加などにより増収を計画。  
 営業利益：米国ブラマーのカカオに関連した特殊要因を見込むものの、植物性油脂事業における東南アジアでのチョコレート用油脂CBEの販売伸長や業務用チョコレート事業における東南アジア等での販売数量の増加により増益を計画。

(単位：億円)

	FY2023 実績	FY2024 修正計画	前期比	FY2024 期初計画	増減要因(前期比)	
売上高	植物性油脂	1,854	1,956	+102	1,874	東南アジアでの販売数量の増加などにより、増収を計画。
	業務用チョコレート	2,534	3,221	+687	2,805	ブラマーシカゴ工場閉鎖による販売数量の減少はあるものの、原材料価格の上昇に伴う販売価格の上昇により増収を計画。
	乳化・発酵素材	899	916	+17	950	中国での販売数量増加を見込み増収を計画。
	大豆加工素材	355	357	+2	371	前年並みの推移を見込む。
	合計	5,641	6,450	+809	6,000	
営業利益	植物性油脂	154	196	+41	123	上期での原材料価格の安定による採算性の改善に加え、東南アジアを中心としたチョコレート用油脂CBEの販売の伸長を見込み、増益を計画。
	業務用チョコレート	18	45	+26	74	米国ブラマーでのカカオに関連した特殊要因を見込むものの、各エリアでのカカオ価格高騰に対応した販売価格の改定やコンパウンドチョコレートの堅調な販売により、増益を計画。
	乳化・発酵素材	38	31	▲7	35	東南アジアでの販売回復は見込むものの、日本での販売数量の減少や中国での採算性の低下により、減益を計画。
	大豆加工素材	10	9	▲2	14	日本での販売数量の減少により減益を計画。
	グループ管理費用等	▲39	▲45	▲6	▲46	人件費やグループ共通の固定費の増加を見込む。
	合計	182	235	+53	200	
営業利益率	3.2%	3.6%	+0.4pt	3.3%		
経常利益	168	185	+17	160		
親会社株主に帰属する当期純利益	65	120	+55	100	営業増益に加え、前年度のブラマーに係る特別損失の剥落により、増益を計画。	

\* 上記の連結業績は億円未満を四捨五入した数値を記載しております。

### 3-2 2024年度 連結業績予想（事業別・所在地別マトリクス）

売上高

（単位：百万円）

	年度	日本		米州		東南アジア		中国		欧州		連結計	
			前期比		前期比		前期比		前期比		前期比		前期比
植物性油脂	2024 修正予想	63,300	+6,287	56,300	▲6,714	33,000	+6,514	3,600	+281	39,400	+3,880	195,600	+10,249
	2024 期初予想	59,000	+1,987	60,900	▲2,114	26,000	▲485	3,600	+281	37,900	+2,380	187,400	+2,049
	2023 実績	57,012	-	63,014	-	26,485	-	3,318	-	35,519	-	185,350	-
業務用チョコレート	2024 修正予想	53,100	+6,793	218,500	+48,324	27,000	+7,425	12,900	+5,023	10,600	+1,124	322,100	+68,691
	2024 期初予想	49,400	+3,093	185,000	+14,824	26,600	+7,025	9,400	+1,523	10,100	+624	280,500	+27,091
	2023 実績	46,306	-	170,175	-	19,574	-	7,876	-	9,475	-	253,408	-
乳化・発酵素材	2024 修正予想	59,900	+882	-	-	13,500	▲939	18,200	+1,801	-	-	91,600	+1,744
	2024 期初予想	59,700	+682	-	-	14,900	+460	20,400	+4,001	-	-	95,000	+5,144
	2023 実績	59,017	-	-	-	14,439	-	16,398	-	-	-	89,855	-
大豆加工素材	2024 修正予想	35,000	+298	-	-	-	-	600	▲170	100	+100	35,700	+227
	2024 期初予想	36,000	+1,298	-	-	-	-	900	+129	200	+200	37,100	+1,627
	2023 実績	34,701	-	-	-	-	-	770	-	0	-	35,472	-
売上高計	2024 修正予想	211,300	+14,262	274,800	+41,609	73,500	+13,000	35,300	+6,936	50,100	+5,104	645,000	+80,912
	2024 期初予想	204,100	+7,062	245,900	+12,709	67,500	+7,000	34,300	+5,936	48,200	+3,204	600,000	+35,912
	2023 実績	197,037	-	233,190	-	60,499	-	28,363	-	44,995	-	564,087	-

上記売上高は外部顧客への売上高を記載しています。

営業利益

	年度	日本		米州		東南アジア		中国		欧州		連結調整		グループ管理費用		連結計	
			前期比		前期比		前期比		前期比		前期比		前期比		前期比		前期比
植物性油脂	2024 修正予想	7,227	+1,402	3,834	▲472	5,452	+3,303	48	+43	3,091	+9	▲87	▲160	-	-	19,565	+4,125
	2024 期初予想	4,907	▲919	2,824	▲1,482	2,526	+377	▲3	▲8	2,021	▲1,060	27	▲46	-	-	12,302	▲3,138
	2023 実績	5,825	-	4,306	-	2,148	-	4	-	3,081	-	73	-	-	-	15,439	-
業務用チョコレート	2024 修正予想	6,980	+718	▲7,170	▲504	2,397	+1,095	1,323	+1,101	986	+308	▲60	▲104	-	-	4,456	+2,614
	2024 期初予想	5,355	▲906	144	+6,808	1,512	+210	17	▲204	370	▲307	27	▲17	-	-	7,426	+5,585
	2023 実績	6,261	-	▲6,664	-	1,301	-	221	-	676	-	44	-	-	-	1,840	-
乳化・発酵素材	2024 修正予想	2,922	▲609	-	-	185	+492	108	▲466	-	-	▲108	▲102	-	-	3,107	▲686
	2024 期初予想	2,808	▲723	-	-	30	+337	658	+84	-	-	32	+37	-	-	3,528	▲266
	2023 実績	3,531	-	-	-	▲306	-	574	-	-	-	▲5	-	-	-	3,793	-
大豆加工素材	2024 修正予想	1,256	▲300	-	-	-	-	372	+96	▲792	+92	46	▲48	-	-	881	▲158
	2024 期初予想	1,612	+56	-	-	-	-	386	+110	▲676	+209	38	▲56	-	-	1,359	+319
	2023 実績	1,555	-	-	-	-	-	275	-	▲884	-	94	-	-	-	1,040	-
連結調整	2024 修正予想	▲5	▲133	▲25	▲11	▲33	▲55	7	+14	34	▲23	355	+532	-	-	334	+323
	2024 期初予想	-	▲127	-	+13	-	▲22	-	+6	-	▲57	-	+177	-	-	-	▲10
	2023 実績	127	-	▲13	-	22	-	▲6	-	57	-	▲177	-	-	-	10	-
グループ管理費用	2024 修正予想	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	▲4,842	▲931	▲4,842	▲931
	2024 期初予想	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	▲4,615	▲704	▲4,615	▲704
	2023 実績	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	▲3,910	-	▲3,910	-
営業利益計	2024 修正予想	18,379	+1,078	▲3,361	▲988	8,001	+4,835	1,858	+788	3,319	+387	146	+117	▲4,842	▲931	23,500	+5,286
	2024 期初予想	14,681	▲2,620	2,968	+5,339	4,068	+901	1,059	▲10	1,715	▲1,215	124	+95	▲4,615	▲704	20,000	+1,787
	2023 実績	17,301	-	▲2,371	-	3,166	-	1,069	-	2,930	-	28	-	▲3,910	-	18,213	-



不二製油グループ本社（株） IR参考資料

2024年度 (2025年3月期)

- 第2四半期 -

ページ	項目
9	表紙
10	IR補足①：主要製品群の販売数量推移（前年同期比）
11	IR補足②：主要原料チャート（2024年10月末まで）
12	IR補足③：主なトピックス、ピックアップ

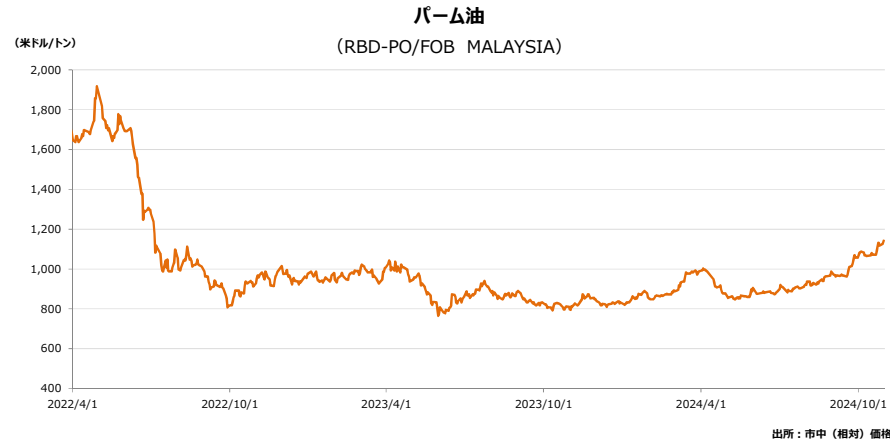
IR補足①：主要製品群の販売数量推移（前年同期比）

セグメント	エリア	製品群	2022年度 実績							2023年度 実績							2024年度 実績							2024年度 2Qポイント			
			1Q	2Q	上期	3Q	4Q	下期	Total	1Q	2Q	上期	3Q	4Q	下期	Total	1Q	2Q	上期	3Q	4Q	下期	Total				
植物性油脂	日本	チョコレート用油脂	111%	106%	108%	91%	98%	94%	100%	92%	91%	91%	102%	107%	104%	98%	106%	106%	106%							チョコレート用油脂CBEの販売が伸長。	
	米州		113%	94%	103%	100%	77%	87%	96%	82%	91%	86%	116%	126%	121%	102%	84%	89%	86%							流通菓子向けの販売が減少。	
	東南アジア		107%	105%	106%	84%	88%	86%	95%	91%	87%	89%	102%	109%	105%	97%	104%	137%	120%							チョコレート用油脂CBEの販売が伸長。	
	欧州		109%	70%	88%	69%	80%	75%	81%	84%	124%	102%	122%	111%	116%	109%	102%	94%	98%							チョコレート用油脂CBEの販売は堅調。	
業務用チョコレート	日本	チョコレート (カカオ製品含む)	98%	96%	97%	93%	95%	94%	96%	97%	101%	99%	101%	101%	101%	100%	103%	102%	103%							土産、冷菓向けの販売が伸長。	
	米州(ブラジル)		112%	105%	108%	100%	102%	101%	104%	118%	110%	113%	109%	116%	113%	113%	98%	99%	99%							前年並みに推移。	
	東南アジア		105%	109%	107%	103%	112%	108%	107%	107%	109%	108%	110%	94%	102%	105%	117%	113%	115%							製菓・製パン向けの販売が伸長。	
	中国		77%	103%	91%	87%	110%	97%	94%	112%	76%	89%	98%	141%	115%	101%	110%	96%	103%							流通菓子向けの販売が減少。	
	欧州		120%	129%	125%	114%	111%	112%	118%	119%	106%	112%	107%	114%	111%	111%	107%	101%	104%							流通菓子向けの販売が堅調。	
	合計(ブラマー除く)		104%	105%	104%	98%	103%	100%	102%	108%	104%	106%	106%	108%	107%	106%	106%	103%	105%								
	ブラマー		95%	92%	94%	87%	94%	90%	92%	84%	89%	86%	94%	88%	91%	88%	84%	77%	80%							シカゴ工場の閉鎖により減少。	
	合計(ブラマー含む)		99%	98%	98%	93%	98%	96%	97%	95%	96%	96%	100%	99%	100%	98%	95%	91%	93%								
乳化・発酵素材	日本	クリーム	97%	106%	101%	104%	105%	104%	103%	108%	107%	107%	110%	108%	109%	108%	98%	97%	98%							猛暑の影響により減少。	
		マーガリン ショートニング	104%	106%	105%	101%	104%	103%	104%	100%	99%	99%	96%	99%	98%	99%	101%	102%	102%							製パン向けの販売が堅調。	
	東南アジア	クリーム	84%	134%	105%	86%	94%	90%	98%	89%	81%	85%	112%	89%	100%	92%	97%	109%	104%							製パン向けの販売が堅調。	
	中国	マーガリン ショートニング	124%	80%	102%	73%	83%	77%	89%	73%	118%	90%	93%	99%	96%	93%	88%	95%	91%							景況感悪化により販売数量が減少。	
		フィリング	88%	92%	90%	87%	87%	87%	88%	94%	94%	94%	104%	99%	101%	98%	104%	108%	106%							景況感悪化により既存顧客向けは減少も、新規顧客への拡販により販売数量が増加。	
大豆加工素材	日本	大豆たん白素材	96%	98%	97%	95%	92%	93%	95%	100%	97%	98%	104%	98%	101%	100%	100%	102%	101%							栄養健康市場向けの販売が堅調に推移。	
		機能剤	87%	110%	97%	108%	120%	114%	104%	84%	86%	85%	95%	79%	86%	86%	99%	92%	96%							飲料向けの販売が減少。	

\*1:製品区分の見直し等により、過年度の実績値を遡及修正した場合は、当資料も遡及修正後の数値に基づき記載をしております。

\*2:INDUSTRIAL FOOD SERVICES PTY LIMITED、Blommer Chocolate Manufacturing (Shanghai) Co., Ltd.は2022年度期末に、ブラマーは2024年度に決算期を変更しておりますが、販売数量推移は前年同月と比較しております。

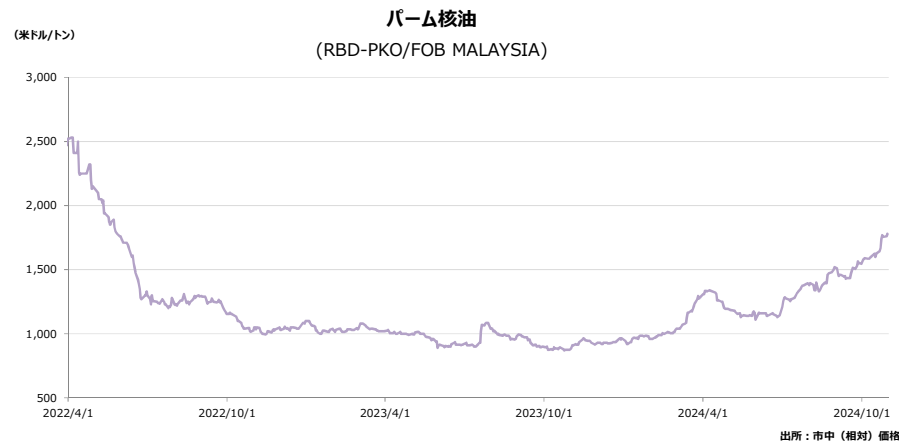
IR補足②：主要原料チャート（2024年10月末まで）



【市況】  
 パーム油生産地の天候懸念や中東情勢、中国やインドの需要により、パーム油価格は上昇。  
 強材料：マレーシアでの生産伸び悩み懸念。中東情勢及びロシア/ウクライナ情勢による原油価格上昇懸念。  
 弱材料：世界的な景気後退懸念。大豆油、菜種油と比較したパーム油価格競争力の消失。



【市況】  
 欧州委員会による欧州森林破壊防止規則（EUDR）の延長提案や西アフリカでの24/25クワブの状況、投機筋の動向などにより、ボラティリティが高い状態が続く。  
 強材料：認証在庫減少による供給逼迫懸念。生産地での天候懸念。  
 弱材料：中南米での生産向上見込み。チョコレート価格高騰による消費者の消費意欲の低下。



【市況】  
 フィリピンでのバイオディーゼルの需要増によりヤシ油価格が上昇。ヤシ油価格に連動し、パーム核油価格が上昇。  
 強材料：ヤシ油の減産懸念。ヤシ油のバイオディーゼル用途での需要増に伴う、パーム核油相場の連れ高。  
 弱材料：欧州委員会による欧州森林破壊防止規則（EUDR）の延長提案に伴う、パーム核油への思惑買い需要の剥落。



【市況】  
 産地における良好な天候により生産量の増加が見込まれ、価格は下落。  
 強材料：南米産地の作付け遅れや今後の天候の変化。  
 弱材料：米国産大豆の好調な収穫進捗。世界的な大豆需給の緩み。

## IR補足③：主なトピックス、ピックアップ

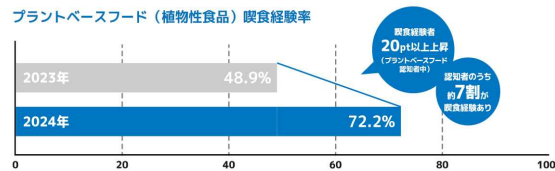
### ●2024年度 主なトピックス（日付は不二製油グループ本社または不二製油（株）WEBサイトでの公開日）

日付	Topics
2024.4.17	植物性素材で動物性食品特有の「満足感」を実現する技術MIRACORE®ブランドサイト およびMIRA-Dashi®製品サイト公開のお知らせ
2024.4.19	公募ハイブリッド社債（劣後特約付社債）の発行条件決定に関するお知らせ
2024.4.26	製品の価格改定に関するお知らせ（2024年7月より実施）
2024.5.15	令和6年春の褒章にて「黄綬褒章」受賞のお知らせ
2024.5.16	大阪産（もん）マルシェ ～Road to EXPO 2025～ の出展のお知らせ
2024.5.23	完全子会社である不二製油（株）の合併並びに商号の変更及び定款の一部変更について
2024.6.3	「豆乳クリームバター」小売発売のお知らせ
2024.6.7	劣後特約付シンジケートローンの契約締結に関するお知らせ
2024.8.28	プラントベースフード（植物性食品）に関するオンライン調査の実施について
2024.9.6	「統合報告書 2024」「サステナビリティレポート 2024」公開
2024.9.20	公益財団法人不二たん白質研究振興財団によるオンライン公開講演会のお知らせ
2024.10.25	CO <sub>2</sub> を活用した大豆育成研究プロジェクト進捗について

### ●ピックアップ

#### プラントベースフード（植物性食品）に関するオンライン調査の実施

不二製油株式会社は、全国の男女1,200人に植物性食品の喫食経験と嗜好に関するアンケートを実施しました。プラントベースフード（植物性食品）の認知率は54.6%で、前回2023年の調査から10ポイント以上上昇しました。また、認知者における喫食経験率は72.2%で、前回から20ポイント以上上昇しました。



#### 「統合報告書2024」「サステナビリティレポート2024」公開

不二製油グループ本社は、2024年9月6日、「統合報告書2024」「サステナビリティレポート2024」を公開しました。統合報告書は、当社グループにおける事業の全体像及び中長期的な戦略を記載し、その内容についてステークホルダーの皆様と対話を重ねることで企業価値向上を図ることを目的として発行しています。サステナビリティレポートは、ESG情報を補完し、不二製油グループのビジョン実現に向けたサステナビリティの考え方や取り組み状況を分かりやすく網羅的に伝えています。



統合報告書2024



サステナビリティレポート2024

#### CO<sub>2</sub>を活用した大豆育成研究プロジェクト進捗

不二製油グループ本社は、佐賀市、国立大学法人佐賀大学、伊藤忠エネクスと共同で、2022年5月よりCO<sub>2</sub>を利用した大豆の育成研究プロジェクトを開始。2023年度には、CO<sub>2</sub>施肥による大豆の育成スピードと品質の向上に関わる研究及び、育成促進に適した品種の選定や栽培技術の開発について研究を行い、令和5年度の日本における大豆の平均収量169kg/反（農林水産省作物統計）と比較し、1作あたり約3倍※1.に増加する結果を得ることができました。（※1.実験面積を一反あたりに換算した上で全量収穫が前提）本研究結果については、一部を「2024年度園芸学会秋季大会」にて発表しました。



植物工場内における栽培状況